

第2章 まちづくりの基本方針

1. 立地の適正化に関する基本的な方針
2. 将来人口
3. 将来都市構造

1. 立地の適正化に関する基本的な方針

本市における解決すべき課題や西尾市都市計画マスタープランの都市の将来像等を踏まえ、今後の生産年齢人口の減少と少子化の抑制や、高齢化の進行に対応するため、主に若い子育て世代と高齢者等をターゲットとして、立地の適正化に関する基本方針を次のように設定します。

西尾市都市計画マスタープラン

**住みたいまち 訪れたいまち ワクワクするまち にしお
～多様性を活かした安全で魅力あふれる都市づくり～**

- 一体感のある都市づくり
- 活力のある都市づくり
- 多様な産業を活かした都市づくり
- 防災都市づくり
- 自然環境と調和した都市づくり
- 環境への負荷を低減した都市づくり
- 歴史・文化を活かした都市づくり
- 全ての人にやさしい都市づくり
- 市民が誇れる都市づくり

立地適正化計画における解決すべき課題

- 拠点周辺における都市機能の維持・誘導
- 誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり
- 生産年齢人口の減少抑制と市民サービスの確保
- 便利で快適に移動できる公共交通ネットワークの確保

立地の適正化に関する基本的な方針

だれもが便利に安心して暮らし続けられるまち 西尾

①賑わいのある拠点の形成と地域特性に応じた都市機能の強化

拠点周辺においては、地区の特性に応じた生活サービス施設を確保するため、適切な範囲で都市機能誘導区域を定め、誰もが歩いて暮らせる拠点市街地を形成します。

また、必要な誘導施設を設定することにより、民間の都市機能への投資を効果的に誘導します。

②安全で住み心地の良い定住環境の向上と居住の誘導

拠点周辺などにおいては居住誘導区域を設定し、地域の人口構造等に配慮しつつ、安全で住み心地の良い定住環境の向上を推進し居住の誘導を促進します。

③拠点と連携のとれた公共交通機能の充実

拠点と郊外部の連携や安全・安心に外出できる公共交通ネットワークを確保し、都市機能にアクセス※できる環境を整えるとともに、外出率の向上等により高齢者等の健康の増進につなげます。

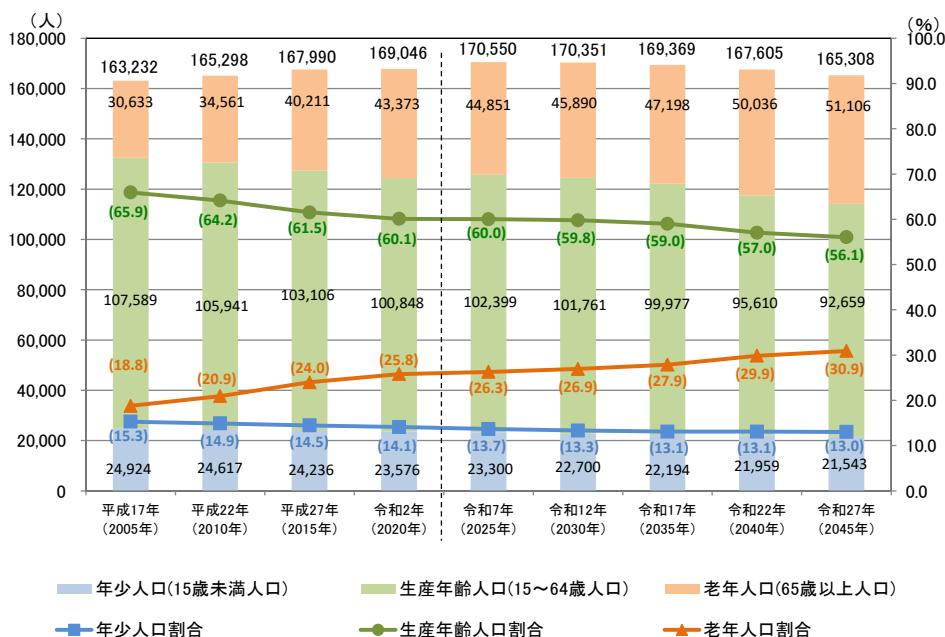
※アクセス：ある目的となる地点等へ移動できること。

2. 将来人口

(1) 推計人口の見通し

国立社会保障・人口問題研究所による人口推計（H30 年推計）は、これまでの国勢調査人口の趨勢に基づく推計で、令和 7 年（2015）年に人口は減少し、令和 27 年（2045 年）では 165,308 人と予測されています。

図 国立社会保障・人口問題研究所による人口推計(平成 30 年推計)

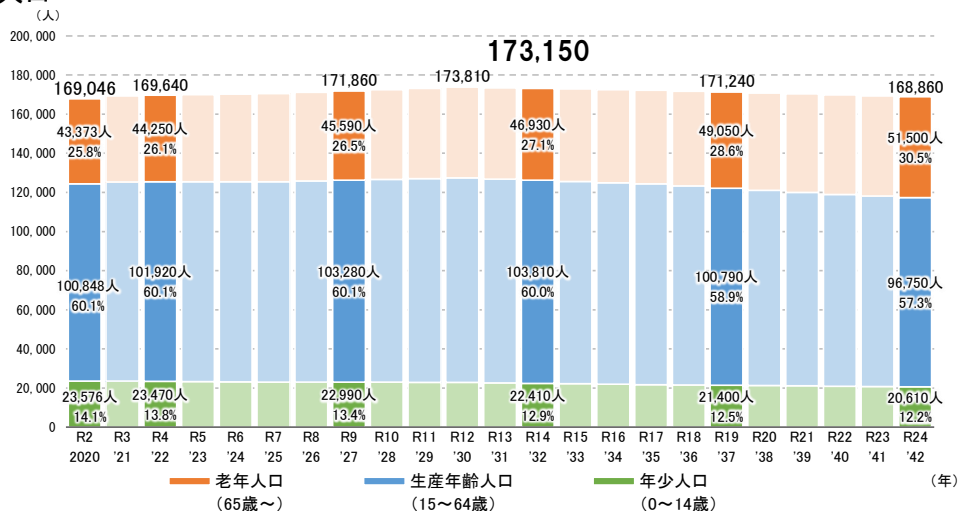


(2) 将来人口の設定

本市の将来人口については、国立社会保障・人口問題研究所による人口推計に踏まえつつ、にしお未来創造ビジョン（第8次西尾市総合計画）や立地適正化計画等の施策や効果を展望し設定するものです。

これにより、本市の人口は、令和 12(2030)年頃までは緩やかに増加し、その後減少局面へと転じ、令和 14 (2032) 年には 173,150 人、目標年次の令和 24 (2042) 年には 168,860 人と想定します。

図 本市の将来人口



資料：にしお未来創造ビジョン（第8次西尾市総合計画）

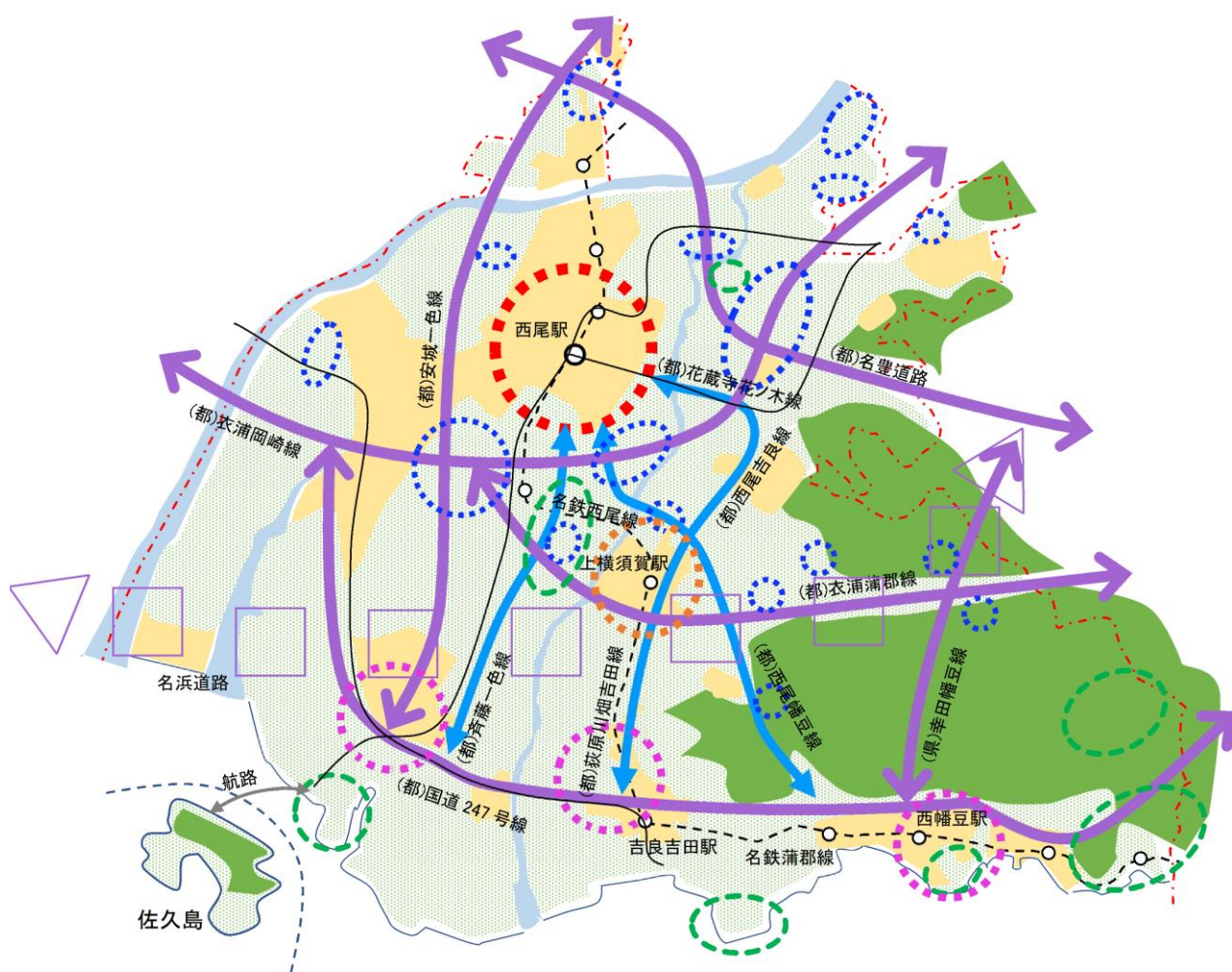
3. 将来都市構造

(1) 拠点・軸・ゾーンの設定

「西尾市都市計画マスタープラン」に基づき、各拠点が有する機能を強化するとともに、公共交通と連携したコンパクトで移動しやすいまちづくりをめざします。

区分		位置づけ
拠点	都心拠点	●本市の顔として魅力的なまち、賑わいを創出誘導するエリア ・名鉄西尾駅周辺
	地域生活拠点	●地域生活を支えるエリア ・一色支所周辺 ・吉良支所周辺 ・幡豆支所周辺
	新生活拠点	●新たな都市機能、交流機能の導入を図るエリア ・名鉄上横須賀駅周辺
	交流拠点	●市内の主要な観光・レクリエーション施設を中心とした拠点 ・憩の農園 ・一色さかな広場 ・道の駅にしお岡ノ山 ・愛知こどもの国 ・吉良温泉 ・寺部海岸 ・三ヶ根山
	産業拠点（工業系）	●新たな工業団地として整備を促進する拠点。
軸	広域都市軸	●周辺都市や拠点間を結ぶ幹線道路軸 ・（都）名豊道路（国道23号） ・（都）衣浦岡崎線 ・（都）国道247号線 ・（都）安城一色線（西三河南北道路） ・（都）衣浦蒲郡線 ・県道幸田幡豆線 ・名浜道路
	都市軸	●拠点を結ぶ幹線道路軸 ・都心拠点～（都）花蔵寺花ノ木線～（都）荻原川畑吉田線 ・都心拠点～（都）西尾幡豆線 ・都心拠点～（都）齊藤一色線
	公共交通軸	・名鉄西尾線・蒲郡線 ・名鉄東部交通バス・名鉄バス（ふれんどバス） ・航路

図 将来都市構造



〰 広域都市軸
 (都)名豊道路(国道 23 号)
 (都)衣浦岡崎線
 (都)国道 247 号線
 (都)安城一色線(西三河南北道路)
 (都)衣浦蒲郡線
 県道幸田幡豆線
 名浜道路(□□□)

〰 都市軸
 都心拠点～(都)花蔵寺花ノ木線～
 (都)荻原川畑吉田線
 都心拠点～(都)西尾幡豆線
 都心拠点～(都)齊藤一色線

〰 都心拠点
 〰 交流拠点
 〰 地域生活拠点
 〰 産業拠点(工業系)
 〰 新生活拠点

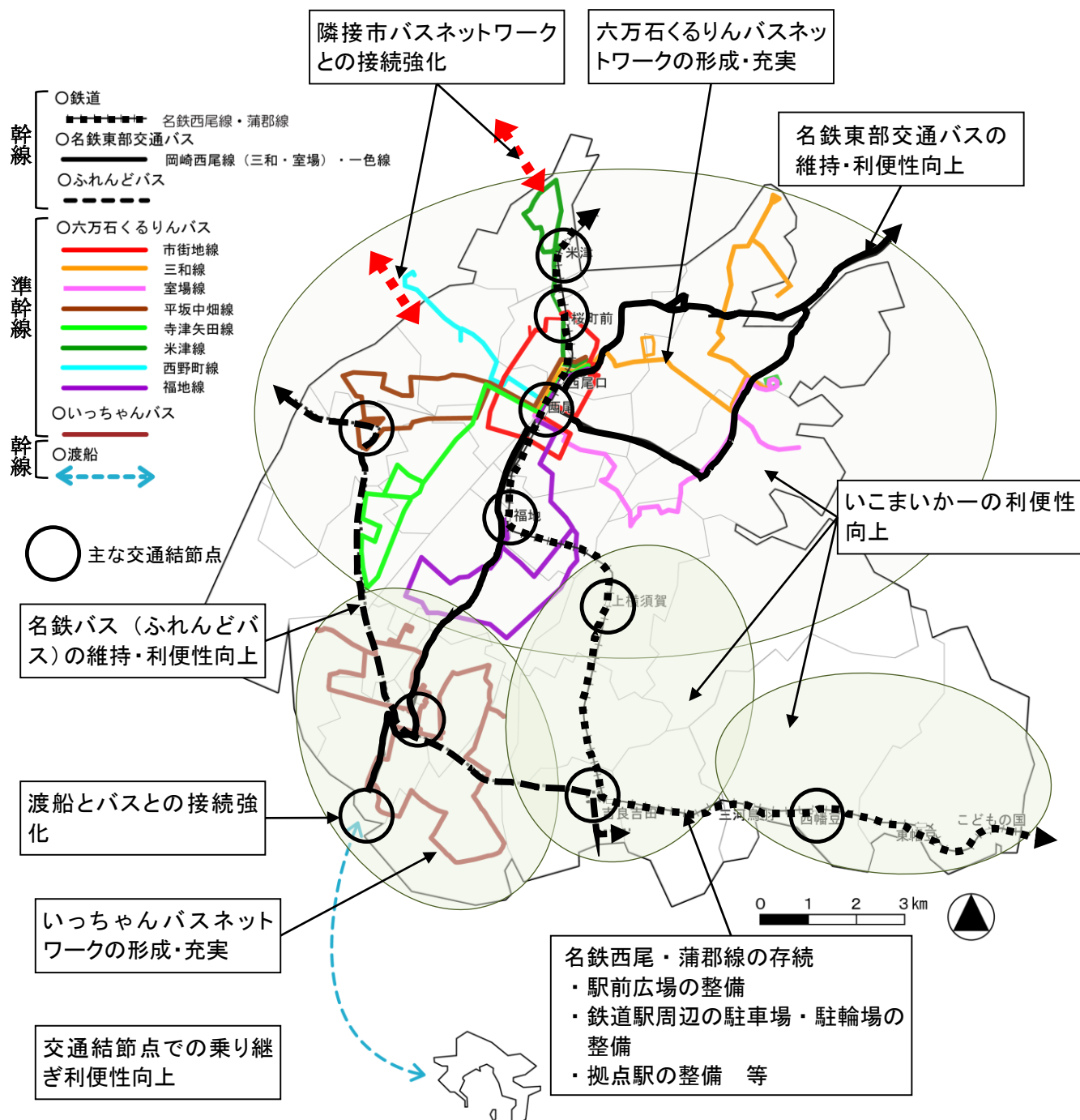
市街地ゾーン
 山林ゾーン
 田園・集落ゾーン

公共交通軸
 --- 名鉄西尾線・蒲郡線
 — 名鉄東部交通バス・名鉄バス(ふれんどバス)
 — 航路

(2) 公共交通ネットワークの再構築の方向

公共交通については、ネットワークを構成する路線の機能別階層を設定し、その階層ごとに必要とされるサービスを提供することにより、鉄道・バス・いこまいかー・タクシー・渡船の各公共交通が、路線や運行ダイヤ等のサービスで連携することにより、利用しやすく便利な公共交通ネットワークを形成します。

図 公共交通網(地域公共交通計画)



※名鉄東部交通バス、ふれんどバスは、地域間幹線系統の補助路線